

2021年10月26日

ソニーグループ株式会社特定非営利活動法人放課後 NPO アフタースクール

【ソニーグループ×放課後 NPO アフタースクール】

子どもの教育格差縮小に向けた取り組み「感動体験プログラム」  
2021年度上期のプログラムの効果測定を実施

特定非営利活動法人放課後 NPO アフタースクール（以下、放課後 NPO アフタースクール）は、ソニーグループ株式会社（以下、ソニー）が2018年より展開する国内における子どもの教育格差縮小に向けた取り組みである「感動体験プログラム」にパートナーとして参画し、小学校の放課後にソニーの技術やコンテンツを活用した STEAM<sup>※1</sup> 分野の多様なワークショップを実施し、子どもたちの創造性や好奇心の向上をサポートしています。

※1：Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Art（芸術）、Mathematics（数学）の略



「感動体験プログラム」においては、初期、中期、長期の時間軸で子どもたちにどのようなよい影響を与えるかを考慮し、プログラムの内容などを設計しています。また、本プログラムの有効性を評価するため、子どもたちにワークショップ実施前および実施後にアンケート調査を行い、本プログラムの目的である創造性や好奇心などの非認知能力の向上に貢献しているかを確認しています。さらに日頃から子どもたちと接している放課後児童クラブや放課後子ども教室などのスタッフからもヒアリングを行い、プログラムの評価に反映しています。

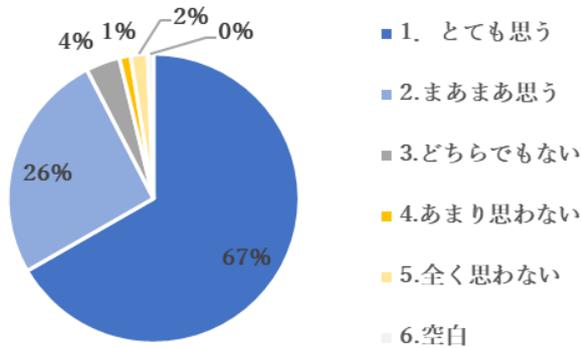
本プログラムでは、2021年4月～9月に8ヵ所でワークショップを実施し、延べ約210人の子どもたちが参加しました。参加者アンケートでは、ワークショップを通じて、知らないことにチャレンジしたいという意欲や未知な物事に対する好奇心が向上したというような結果を確認できました。

ソニーおよび放課後 NPO アフタースクールは、これからも子どもたちに「感動」を届け、創造性や好奇心を育む機会を提供するとともに、教育格差縮小に向けて、継続的にプログラムの有効性評価の実施と成果の発信に取り組んでいきます。

<プログラムを体験した子どもたちのアンケート>  
(放課後NPOアフタースクール調べ)

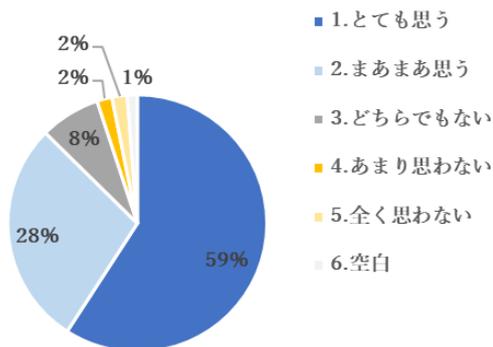
■93%の子どもたちが今後も同様の体験を希望

今回のようなプログラムがあれば、もっと放課後は楽しくなると思いますか？ (回答数：171)



■87%の子どもたちがチャレンジ意欲を持つようになったと回答 (回答数：171)

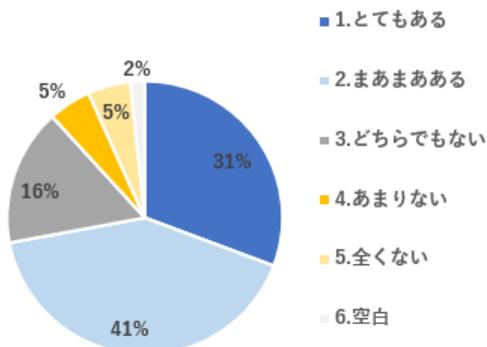
できるかどうかわからないことでも、やってみようとおもいますか？



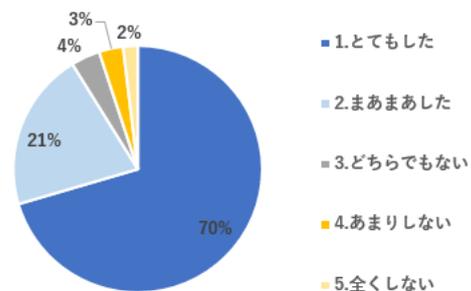
■未知な物事に対する好奇心が、実施前72%から実施後91%と大幅に向上 (回答数：171)

自分の知らないことや、新しいことに出会うのはワクワクしますか？

【実施前】



【実施後】



ワークショップを体験した子どもたちからは、以下の声があがりました。

「自分が知らないことを知れて良かった。また、知らないことをやってみたいと思いました」  
 「自分で何がしたいか考えてみんなに発表するのがとても楽しかったです」  
 「ダンスはにがてだったけれど、やってみたらたのしかった」

■ イベントのお知らせ～企業の視点からの子どもの教育支援の重要性～

11月10日(水)に放課後NPOアフタースクールは「子どもたちのために～企業×NPO フォーラム ESG・SDGs等の責任に企業とNPOがどう取り組むか?」を主催いたします。本イベントでは、より多くの多様な企業とNPOが次世代育成に取り組むことの重要性を広く発信するために開催するものです。当日、ソニーグループ株式会社サステナビリティ推進部 シニアゼネラルマネジャーのシッピー光様に加え、東洋経済新報社「CSR企業総覧」編集長など企業の社会活動に精通する登壇者を通して多様な視点をご紹介します。

◇開催概要

- ・日時 : 2021年11月10日(水) 17:30-19:00
- ・参加費 : 無料
- ・形式 : オンライン
- ・申し込み : <https://houkago-forum.peatix.com/>

**ESG・SDGs等の責任に  
企業とNPOがどう取り組むか?**

企業・投資家・消費者・就活生にも意識される ESG や SDGs。業態や事業規模を問わず多様な企業の参画で様々な取り組みが始まっています。90分の中で主催者 NPO が掲げる「社会で子どもを育てる重要性」に触れつつ、多様な視点をご紹介します。

**ご登壇者**

なぜ企業はビジネスの本業で SDGs に取り組むのか?

SDGs 時代に企業は地域社会とのかわりをどう進めるか?

次世代を担う子どもたちの教育格差縮小に向けた取り組み  
～ソニーグループ多様なアワードも活用した「感動体験プログラム」について～

株式会社メンバーズ 執行役員 「SDGs」を生み出す未来のビジネス」著者 **原 裕 様**

『CSR 企業総覧』(東洋経済新報社) 編集長 **岸本 吉浩 様**

ソニーグループ株式会社 サステナビリティ推進部 シニアゼネラルマネジャー **シッピー 光 様**

様々な業態や事業規模の企業から ESG、SDGs 情報を収集し、年間発行・更新を行っている。日曜日は、アリスとした娘の一角が、お金の専門家。

1984 年にアップコムでキャリアをスタートし、1999 年より企業内 DX 支援、CSR (社会 価値創造) 推進に専ら、デジタル化とサステナビリティを軸としたイノベーションを推進中。

社会貢献担当として入社した原裕。第 20 年を迎えたソニーナビティ・CSR に関わり、小学生 2 人の母。

**オンライン開催**  
子どもたちのために **企業 × NPO フォーラム**

**11/10 水**  
17:30 ~ 19:00

●日時 **11/10(水) 17:30 ~ 19:00**

●対象 CSV・CSR・サステナビリティご担当者  
広報宣伝・マーケティング等ご担当者  
またはテーマに関心のある企業の方

●参加費 **無料**

●形式 Zoom ウェビナー配信

●ナビゲーター **後藤 愛**  
(特定非営利活動法人 放課後 NPO アフタースクール)  
食品メーカーの CSR 部門に就任後、「子どもの放課後課題をなんとかしたい!」との思いで NPO へ転身。2 児の母。

●お申し込み Peatix よりお申し込みください。  
<https://houkago-forum.peatix.com>

●締め切り **11/7(日)**  
お申込みいただいた方には、開催約一週間前に担当者からメールで Zoom のリンクをご連絡いたします。  
※当日の配信動画の録音・録画はご遠慮ください。

**放課後 NPO**  
アフタースクール

主催：特定非営利活動法人 放課後 NPO アフタースクール  
(企業連携特設ページ <https://mpoafterschool.org/social-design/>)

お問い合わせ (担当) 後藤 goto@mpoafterschool.org

## ■ソニーグループが取り組む教育支援活動

ソニーは社会貢献活動のスローガンとして「For the Next Generation」を掲げ、次世代を担う子どもたちの教育プログラム「CurioStep with Sony」を国内外で展開しています。2018年には新たな取り組みとして、国内における社会問題の一つである子どもの「教育格差」縮小に向けた「感動体験プログラム」を開始。NPOなどの外部団体とのパートナーシップのもと、小学生の放課後の学童、地方や離島の小学校、子ども食堂などにおいて、ソニーの技術やコンテンツを活かした多様なワークショップを実施しています。

## ■放課後 NPO アフタースクールが「放課後拠点の充実+企業連携」で目指すソーシャルイノベーション

「放課後をゴールデンタイムに！」をスローガンに小学校の放課後改革に挑戦し、安全・安心な場と本物・多様な体験が両立するアフタースクールを展開している放課後 NPO アフタースクールは、放課後拠点の運営・サポートに加え、企業や行政等と連携して子育て・教育プロジェクトを推進する専門チームを設置。社会的に大きな影響力を持つ多様な組織団体と共に、社会全体で子どもたちを守り育む活動を加速させ、子どもたちのためのより豊かな放課後の実現に向けたチャレンジを続けていきます。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

放課後 NPO アフタースクール 広報：鈴木  
press@npoafterschool.org

感動体験プログラム PR 事務局 担当：中原  
TEL：03-5572-7375 / FAX：03-6685-5266  
e-mail：[ssp\\_pr@vectorinc.co.jp](mailto:ssp_pr@vectorinc.co.jp)